



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.9
令和6年 8月 9日(金)
編集・発行責任者 校長 池田敏典
E-mail e52nagasaki-city.ed.jp
G-mail nijigaoka@gmail.com

向日葵の花のように

夏を代表する花と言えば《向日葵》ですね。

向日葵は、暑い夏の日、青空に向かって大きく伸びて大きな花をつけ、見るからに〈力強さ〉、〈たくましさ〉を感じさせます。しかし、力強さやたくましさを見せつけるだけではなく、小さなみつばちなどの生き物に、自分の花の蜜を「どうぞ召し上がれ」とも言っているような〈優しさ〉や〈おおらかさ〉も感じさせてくれます。

夏の暑い中、堂々と太陽に向かい、大きく咲いている向日葵を見て、「よし、負けるものか」といった強い気持ちを持たなくてはと思います。そして、〈力強さ〉とともに〈優しさ〉も…。

どんな生き物も、自分の力で、努力の限りを尽くして生きています。暑いから、寒いからといって逃げているのは人間だけかもしれませんね。

夏休みも、今日で丁度半分が過ぎます。お子さんは、夏休み中の学習や課題研究、作品づくりなど、計画的に取り組んでいるでしょうか。私たち大人もそうですが、計画的に一日を送らないと、あっという間に一日が終わってしまいます。今日までの21日間で何ができたか。また、明日からの21日間で何をしなければならぬか。今夜、親子で話題にされてはいかがでしょう。また、生活リズムの乱れはありませんか。残りの夏休みで生活を整え、2学期に備えて欲しいと思います。くれぐれも、交通事故や水の事故等に遭わないよう、御家庭での声掛けをお願いいたします。

平和を祈る夏

今日8月9日は、79回目を迎えた「原爆の日」です。79年前、私たちが住むこの長崎で何が起きたのか。子どもたちは勿論、私もまだ生まれていない時のことですが、それでも、私たちは知っています。



す。決して忘れてはならないことです。そして、戦争というものが起こらない世の中にしなくてはならないと強く思う今日の日です。

登校日の今日、本校でも《平和集会》を開き、平和の尊さについて学び合いました。

その中で、私から次のように話をしました。

今日は、戦争によって、ここ長崎に原子爆弾が落とされ、多くの方々が犠牲になった日から79年目を迎えます。

まずは、原子爆弾で、そして、戦争で亡くなられた方々の御冥福を祈りましょう。

ところで、みなさんは、「戦争」という言葉の反対の意味の言葉は何だと思えますか？

「平和」でしょうか…。校長先生は、「戦争」の反対の言葉は「話し合い」だと考えます。

「話し合い」では、自分の考えだけでなく、相手の考えや立場に心をよせることが大切です。お互いが、自分の言い分だけで話し合いをすると、決して良い解決には至らず、最後には戦争になってしまうのです。みなさんの生活レベルで考えますと、言い争いのあげく喧嘩になってしまうということです。これでは、平和な世の中にはなりませんよね。

では、「平和」の反対の意味の言葉は何だと思えますか？それは「混乱」です。混乱とは、秩序が乱れ、世の中のみんなが好き勝手にしている状態です。つまり、相手や周りの人たちのことを考えず、自分に都合のいいことだけを考えて行動する人ばかりの世の中ということです。

想像してみてください。はさみ歩きを守らず、学校の廊下や階段を走り回っている人たちがいたとします。安心して廊下や階段を歩けませんね。気に食わないからと誰かの悪口を言う人ばかりだったとしたら、気持ち良く生活できませんよね。外に出たら、信号なんて関係ないよとばかりにスピードを出して走っている車ばかりだったとしたら、とても怖いすよね。

「話し合い」にしても「平和」にしても、自分勝手ではなく、相手の気持ちや周りのことを考え、決まりやルールを守って生活することが大切なのです。

世の中から戦争が無くなることを願うとともに、そのために、まずは、私たちが安心して平和に過ごせる虹が丘小学校であること、みなさんが、毎日、「うるとらはっぴい！」と思える虹が丘小学校であることを、校長先生は願っています。